



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

日本人英語学習者と英語母語話者によるEssay Writingにおける冒頭文の比較

メタデータ	<p>言語: Japanese</p> <p>出版者: 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科</p> <p>公開日: 2023-12-11</p> <p>キーワード (Ja): 英語ライティング, 冒頭文, 対照修辞学, 日本人英語学習者, コーパス, ETYP:教育関連論文, SSUB:英語</p> <p>キーワード (En): Essay Writing in English, Opening Sentences, Contrastive Rhetoric, Japanese EFL Learners, Corpus</p> <p>作成者: 伊東, 哲</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属: 東京学芸大学</p>
URL	<p>http://hdl.handle.net/2309/0002000157</p>

日本人英語学習者と英語母語話者による Essay Writingにおける冒頭文の比較

伊 東 哲*

本研究では日本人英語学習者及びアメリカ人英語母語話者による英語ライティングにおける冒頭文を分類しその特徴を捉えることを目的とした。本研究では日本人英語学習者によって書かれた399編の英語ライティング及びアメリカ人によって書かれた113編の英語ライティングを分析対象とし、全ての冒頭文を対象として探索的に分類を行った。その結果、英語ライティングの冒頭文は大きく3つのカテゴリ（「見解」「事象」「前提」）に分類された。日本人英語学習者による英語ライティングではその約97.7%が冒頭文として「見解」を書いており、冒頭文の書き方について画一性がみられた。一方でアメリカ人による英語ライティングでは約80.0%が「見解」から書き始めており、これが多数を占めていたものの、

「事象」や「前提」といった冒頭文も一定数みられた。また、両者が最もよく使用する「見解」の冒頭文では、日本人英語学習者による冒頭文にはバリエーションがあまりみられない一方で、アメリカ人による英語ライティングでは多様な書き方がみられた。

Key words

英語ライティング, 冒頭文, 対照修辭学, 日本人英語学習者, コーパス

*東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科言語文化系教育講座